

聖書箇所:創世記1章26~27節  
『神のかたち』



### 【1】 天地創造のクライマックス

- ・ある対論番組での質問:「どうして人を殺してはいけないのか?」  
—多くの人は直感的に「いのちは大切」だと答えるが…
- ・天地創造のクライマックス  
—光、大空、地と海、植物、太陽、月と星、生き物等の創造 ◀命令  
—人の創造「さあ、人を…造ろう」 ◀特別な宣言

### 【2】 神のかたちとして

- ・「われわれのかたちとして…」  
—複数の神々による創造! ?  
—「尊厳の複数形」偉大な神がご自身を指す際の複数形  
—「天上の会議」での意思表示(参照イザヤ6:8; ルカ1:13-14)
- ・神のかたちとは?  
—外見や身体的特徴ではない  
—神の存在を知り、応答できる存在 (霊的理解)  
—良心を持ち、善悪を判断できる存在 (倫理的特性)  
—他者を慈しみ、愛することを喜べる存在 (愛する能力)  
—新しいものを生み出せる存在 (創造性)  
—神のみことばを理解し、神と関係を築ける存在 (神との交わり)
- ・支配せよ  
—圧政や暴力的統治を連想させる「支配」  
—「支配(גָּדַל)」本来の意味は「牧者が群れとともに移動する」  
◀詩篇の23篇の「導き、世話をし、見守る」: 創造物を慈しみ管理する役割

### 【3】 いのちの価値

- ・神は、ご自身のかたちとして、人を男と女に創造された  
—男と女が等しく神のかたちに創造されたと明言
- ・聖書が教えるいのちの価値  
—人のいのちに匹敵する価値を持つものは、いのちそのもの(創世記9:6)  
—神のかたちとして造られた人(いのち)そのものが尊い
- ・あなたは神がひとり子イエスのいのちを犠牲にするほど高価で尊い存在(イザヤ43:4a; ヨハネ3:15)

▷今朝は「信仰の自由を守る礼拝」です。「信仰の自由」は人間の基本的な権利の一つです。しかし一度、戦争が始まると、そうした自由が脅かされることを歴史は物語っています。戦場では、人が単なる「戦力」や「敵」として扱われ、人間のいのちが軽視されます。神のかたちとして造られた私たち。主の平和をつくる者とされますように(マタイ5:9)。

<sup>1</sup> HALOT, s.v. “גָּדַל,” 3:1190.